

《第63回》平成三十年六月の作品

〈六月八日（金） 於 文京シビックセンター5D〉

路地裏の軒低くして立葵

（隆治）

閉ざされて梅雨の千体地藏堂

（一江）

眼前の富士の姿や梅雨間近

（貴美）

三耗みりの尺蠖とりちやんと尺を取る

（清助）

夕涼や骨董店に魯山人

（前歩）

胡瓜売る畑に井戸端会議かな

（孝昭）

残雪の槍やヶ岳りを遠くに蛙鳴く

（奉男）

人住まぬ家に千個の枇杷たわわ

（正雄）

三千院楓若葉に埋もれをり

（平六）

薰風や駿馬の駆ける二分半

（正佳）

駅弁に空豆二つ添えてあり

（芙紗）